

平塚市地域教育力ネットワーク協議会功労者表彰者

団体名	氏名	功 績
港地区青少年を守る会	松日楽 良樹 (まつひら よしき)	平成11年4月から「港地区青少年指導員連絡協議会」に属し、地域防犯の一手である巡視活動に積極的に参加され、多大なる貢献をされています。
浜岳地区地域教育力ネットワーク協議会	山本 雅文 (やまもと まさふみ)	なでしこ小学校PTA会長時代より積極的に参加をし、地域支助経験者として平成11年度より、当協議会副会長として多大なる貢献をされています。
中原中学校区青少年育成会	飯塚 紀一 (いづか きいち)	平塚市少年補導員の会長のかたわら、当育成会にご助力いただいています。当育成会の行事に積極的に参加し、子どもたちとのふれあいを大事にされており、子どもたちからの信頼も厚いです。
	小川 詔三 (おがわ しょうぞう)	地域の町内会連合会の会長のかたわら当育成会にご助力いただいています。中学生が地域に参画することを目的に「中学生ボランティア」を中学校と連携して実現されました。
	重本 勝平 (しげもと かつぺい)	中原中学校区青少年育成会の現役員として5年以上にわたり地域教育力の向上及び青少年の健全育成に熱心に取り組んでおり、その功労が顕著で他の見本と認められます。
	小野 千津子 (おの ちずこ)	平成9年5月の発足時より当育成会に属し、平成14年度と平成19年度には会計監査として各種行事へ積極的に参画し、当育成会の中心的な役割を果たしています。
	黒川 陽子 (くろかわ ようこ)	当地区の子ども会活動、青指活動にも幅広く協力参加し、「夏休みパトロール」や「ボウリング大会」において中心的役割を果たしています。
おおすみ地域教育力ネットワーク協議会	長谷見 良文 (はせみ よしふみ)	平成15年度から継続しておおすみネットの役員として活動し、地域青少年の健全育成に多大な貢献をされています。
山城学区教育力ネットワーク協議会	鈴木 早苗 (すずき さなえ)	平成15年4月から山城学区教育力ネットワーク協議会に属し、日ごろから子どもたちの健全育成及び地域の連帯・連携に貢献されています。また、長年体育振興会にも所属し、スポーツを通して、地域住民の親交を深め連帯意識の向上に努力されています。
	沢野 政久 (さわの まさひさ)	平成14年4月から山城学区教育力ネットワーク協議会に所属し、日ごろから子どもたちの健全育成及び地域の連帯・連携に貢献されています。また、長年体育振興会にも所属し、スポーツを通して、地域住民の親交を深め連帯意識の向上に努力されています。
	多田 泉 (ただ いずみ)	家事の都合をつけ、灯籠流しや通学合宿の実行委員として活動をしていただいております。特に通学合宿の「指編み」や「わらじ作り」は子どもたちから大好評でした。
	佐藤 美智子 (さとう みちこ)	会計して会の運営をサポートしていただいていることは無論、全ての行事に関わり子どもを中心に地域との連絡ネットワークに心を配り活動していただいております。特に中学校への情報発信人として大いに頑張ってください。

金目中学校区地域教育力ネットワーク協議会

原 淳子 (はら あつこ)	ネットの創生期書記をしていただき、学校・地域間の距離を縮めるように努力していただきました。また、書記を辞めた後も幹事として各行事に参加いただき常に地域子どもたちのために力を借りております。
大野 隆一 (おおの りゅういち)	「灯籠流し」や「土作り花植え」の事業に企画立案をしていただき、実行に移していただいております。特に小学生の扱いがうまく小学生の参加がある「子ども広場」や通学合宿に尽力をいただいております。
柳川 久子 (やながわ ひさこ)	当協議会の副会長として通学合宿の実行委員長を2年担当していただいております。また、当事業の「もらい湯」を実行する際に、何軒かを事前に承諾を得るなど、すべての事業に対しバランス感覚のとれた行動で、地域と子どもたちをストレートな思いでいつも活動していただいております。
黒部 栄三 (くろべ えいぞう)	サッカーを通じ子どもたちと関わりその関係で当協議会の発足時の組織づくりや「灯籠流し」の行事の導入等に変なアドバイスと展開等に貢献いただきました。現在も全ての行事に一幹事として活動の底辺を担っていただいております。
曾我 勝弘 (そが かつひろ)	発足時より7月の「映写会」の委員長として子ども対象の映画の企画から実行役として一人三役以上の活動をされております。また、きさくな人柄で小・中学生の中に入って声をかける等、「灯籠流し」やネットの他のイベント等においても積極的活動をなされております。
米村 康信 (よねむら やすのぶ)	通学合宿事業第2、第3回実行委員長、現在も中心的に活動されております。広報委員会委員長としてネットの広報誌の発行時、地域の人達にネットのPRに多大な貢献をされています。また、金目子ども広場の企画等にも積極的活動をいただいております。
福留 和美 (ふくとめ かずみ)	花一杯運動の「みんなでつくり花の町」の平成16年度の実行委員会委員長。各バス停及び県道脇の空き地にプランターを設置し、そこに花を植え管理するという発想と中学生の地域ボランティア意欲の向上をねらいとしたネットの最初の事業を企画時より中心となって実施されました。
岡安 俊恵 (おかやす としえ)	通学合宿の実行委員会委員、宿泊担当として女子中学生のお母さんの役割をしていただいております。勤務の都合がある中で多くの事業に出席しサポートをいただいで大いに感謝しております。
石田 洋一 (いしだ よういち)	「みんなでつくり花の町」実行委員会委員、中心メンバーとして入会以後毎年車輛等を提供していただき、回収・花植え等中学生と一緒に頑張らせていただいております。
柳川 研治 (やながわ けんじ)	発足当初の広報誌の発行や「みんなでつくり花の町」行事実行の責任者です。現在は「灯籠流し」主体の活動に従事していただいております。また、子どもサポート看板の新設・改設置等にも尽力されています。

横内子どもサポートネットワーク協議会	清水 敏男 (しみず としお)	平成9年4月の協議会発足当初から、「青少年を育てる会」の会長として、現在の基盤づくりに尽力されました。 平成12年の会長退任後も当地区協議会活動に参画するとともに、湘南和太鼓「絆」を立ち上げ、人と人のつながりを重んじる独自の活動で、他地域の行事にも幅広く参画し、子どもたちの社会性と伝統継承に積極的に取り組んでいます。
	小宮 保 (こみや たもつ)	平成9年4月の協議会発足当初から、副会長として、現在の活動の基盤づくりに取り組み、平成12年の会長就任後は、体験学習協力者の拡大に尽力されました。 平成14年には、横内マイタウンスクールの初代表として関係団体間の連絡、調整、交流の中心的役割を果し、現在の活動の基盤をつくられました。
旭陵学区教育力ネットワーク推進協議会	下田 喜夫 (しもだ よしお)	平成17年の会長就任以来、広報誌を年間6回発行し、活動内容のPRに尽力されました。また、小・中学生参加の世代間交流事業(老人ホーム訪問)の実施や地域の防犯ネットワークシステムの構築など多大なる貢献をされています。
	加藤 維三雄 (かとう いさお)	平成9年旭陵学区教育力ネットワーク推進協議会発足以来11年間委員として活動を続けています。防災避難一泊キャンプや旭陵中ふれあいバザー、旭小くすのき祭り及び公民館まつり等ではリーダーシップを発揮し中心的役割を果たしています。
	片山 まや子 (かたやま まやこ)	平成9年旭陵学区教育力ネットワーク推進協議会発足以来11年間委員として活動を続けています。この間各種行事へ積極的に参画し、防災避難一泊キャンプでは、班長としてリーダーシップを発揮し、周りからも厚い信頼があります。
	高橋 優子 (たかはし ゆうこ)	平成9年旭陵学区教育力ネットワーク推進協議会発足と同時に委員として活動し、各種行事へ積極的に参画し、特に防災避難一泊キャンプでは、リーダーシップを発揮し中心的役割を果たしています。
	大豆村 尚子 (まめむら なおこ)	平成12年より8年間、旭陵学区教育力ネットワーク推進協議会委員として活動を続けており、特に防災避難一泊キャンプでは、初回より積極的に参画し中心的役割を果たしています。
	小玉 敏郎 (こだま としろう)	平成2年から、旭陵学区青少年健全育成連絡協議会委員として活動、平成9年名称が変わると引き続き委員として活動し、各種行事へ積極的に参画しています。特に今年度3回目となる小中学生参加の世代間交流事業(老人ホーム訪問)では、中心的役割を果たしています。
健全育成協力者会	高橋 初枝 (たかはし はつえ)	平成3年4月より健全育成協力者会に属し、日ごろから子どもたちの健全育成及び地域の教育力向上に向け積極的に取り組んでいます。 平成16年からは、副会長として各種行事に積極的に参画しているとともに、地域パトロールや研修会の出席もかさず中心的役割を果たしています。